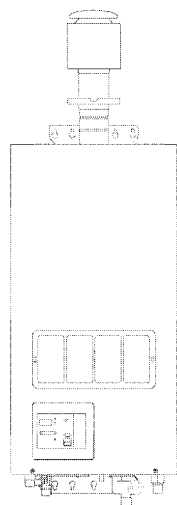


厨房ダクト接続形
ガス給湯器

633 - 1001 型

型式名 GS-160GE-1



取扱説明書



ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分に理解したうえで正しくお使いください。別添の保証書とともに、この「取扱説明書」をいつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。なお、ご不明な点があればお買い上げの販売店にお問い合わせください。

大阪ガス株式会社

お問い合わせ先
別添 大阪ガスのお問い合わせ先
をご参照願います。

お願い ガスくさいときは、ガス栓を閉じ窓を全開にして、(火気に注意して)
大阪ガスに連絡してください。

TF0009

安全に正しくお使いいただくために

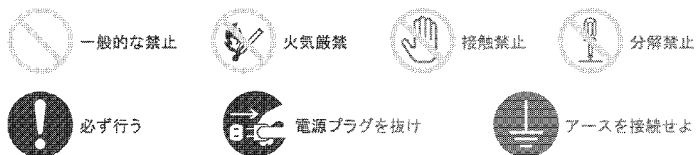
■この取扱説明書の表示について■

この取扱説明書では、機器を正しくお使いいただく万一の事故を未然に防ぐため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

危険 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

警告 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者等が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。



お願い ご使用になるときに、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P. XX参照) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について■



やけど注意

排気筒や周囲が高温になるため、やけど注意を表示しています。

コードラベル

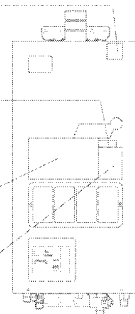
品名を表示しています。

使用上の注意

使用上の注意について表示しています。

銘板

型式名、使用ガスの種類・製造年月・製造業者等を表示しています。



ごあいさつ

このたびは、大阪ガスのご給湯器をお買い上げいただき、ありがとうございました。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、型式名・製造年月をお知らせください。

この製品の特長

- お使いになる湯温や、湯量に応じてガス量を自動調節します。
- 冬期、気温が下がると自動的に作動し、凍結を予防するヒーターが組み込まれています。
- 給湯温度は本体操作部または、別売のリモコンにより37～75℃の間で16段階の調節ができます。また、設置時に37～80℃の間で16段階の調節ができる設定（高温対応）にすることも可能です。（→P.13参照）
- この機器は従来品と比べ、熱効率が約15%高くなっており、ガスをより効率的にお使いになれます。また、環境面でもCO₂削減に貢献します。

☆安全に正しくお使いいただくために・・・ 1
この取扱説明書の表示について
機器本体の表示について

☆この製品の特長・・・ 2
☆必ずお守りください・・・ 3
☆各部の名称とはたらき・・・ 8

☆ご利用前の準備・・・ 11
本体操作部の現在時刻の合わせかた・・・ 11
☆本体操作部でお湯を使う・・・ 12
操作の基本・・・ 12
給湯温度の調節・・・ 13

☆本体操作部と防湿型サブリモコンをセットで使う・・・ 14
☆プログラム運転を使う・・・ 15
プログラム運転について・・・ 15
プログラム時刻の合わせかた・・・ 15
プログラム運転のしかた・・・ 16

☆故障かな？と思ったら・・・ 17
機器本体・・・ 17
本体操作部・防湿型サブリモコン・・・ 17
お湯の出かた・・・ 18
本体操作部・防湿型サブリモコンのアラーム番号が出たとき・・・ 19

☆冬期の凍結予防をするには・・・ 20
☆点検のポイント・お手入れのしかた・・・ 23
☆仕様・・・ 25
☆アフターサービスについて・・・ 26

必ずお守りください

⚠ 危険

ガス漏れ時使用厳禁

- ガス漏れに気づいたときは、機器の使用を中止し、ガス栓またはメーターガス栓を開けてから、最寄りの大阪ガスに連絡してください。
- ①給湯栓をすべて閉めてください。
- ②ガス栓または、メーターガス栓を開めてください。



火気厳禁

- 全ての処置が終わるまでの間、絶対に火をつかたり、電気器具（換気扇その他）のスイッチの「入」「切」や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しないでください。炎や火花で引火し火災のおそれがあります。

本体の給気フィルターのつまり

- 本体の給気フィルターにゴミなどがつまっているか確認してください。不完全燃焼の原因となります。

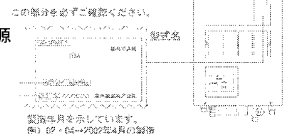
⚠ 警告

使用ガス、使用電源の確認

- 機器の銘板に表示してあるガス種（ガスグループ）および電源（電圧、周波数）で機器を使用してください。ガス種及び電源が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、爆発着火でやけどしたり、機器が故障する場合があります。
- 転居時の注意は（→P. 26参照）



ガス種・電源を確認



排気ダクトとの接続部の外れに注意

- 排気ダクトとの接続部の外れや損傷、穴あき、詰まりに気づいたときはすぐに使用をやめ、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。このまま使用すると、排気が室内へ漏れて、一酸化炭素中毒の原因となります。



禁止

排気フードおよび排気筒の定期点検

- 排気フードの変形、破損等がないか定期点検する。また排気筒の破損、外れ、ススなどのつまりがないか定期点検する。排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり危険です。

換気注意

- 換気口・給気口は常に確保し、物などでふさがないようにしてください。不完全燃焼の原因となります。
- 使用中は、お部屋の換気口（給気口・排気口・小窓など）は常に開けて、物などでふさがないようにしてください。一酸化炭素中毒の原因となります。

機器の設置・移動・付帯工事

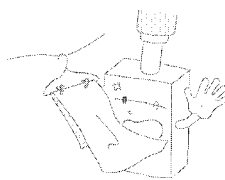
- 機器の設置・移動及び付帯工事は、必ずお買い上げの販売店または大阪ガスに依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

機器設置給気フィルターの付近

- 給気フィルターの前方にものを置かないでください。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止



安全に正しくお使いいただくために、この内容は必ずお読みください

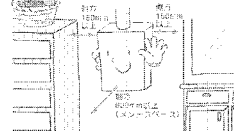
⚠ 警告

屋内式・厨房ダクト接続形機器

- この機器は屋内式ですので屋外に設置されていないことを確認してください。屋外に設置しますと、風により炎が機器の外にあふれて火災のおそれがあります。また雨水の浸入や炎が風にあおられて故障の原因になります。
- この機器は厨房ダクト接続形ですので、機器の排気フード部が排気ダクトに接続されていることを確認してください。排気ダクトに接続せず、排気筒を使用して屋外に排気するような設置にすると、排気が室内に逆流し大変危険です。
- 機器1台につき、140m³/hの必要排気量が確保できる排気ダクトに接続してください。

火災予防のために必ず守ること

- 機器周辺のものとは常に図の隔離距離を確保してください。



- ①機器及び排気口の周囲には紙や木材などの燃えやすいものを置かないでください。火災の原因になります。
- ②機器周辺でガソリン、ベンジンなどの引火性危険物を使用しないでください。引火して火災を起こすおそれがあります。
- ③機器の周囲や上にスプレー缶、カセットコンロ用ボンベなどを置かないでください。熱でスプレー缶内の圧力が上がり爆発するおそれがあります。



禁止



使用中の外出、就寝禁止

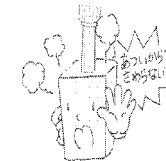
- 火をつけたままのお出かけやおやすみは絶対にしないでください。

機器本体でのやけどに注意

- 機器の使用時または使用後しばらくは、排気ダクトとの接続部、またその周辺部には手を触れないでください。高温になっていますのでやけどのおそれがあります。



接触禁止



給湯・シャワー使用時のご注意

- お湯を使う場合には最初に熱いお湯が出ることがあります。手のひらで温度を確かめて湯温が安定してからお使いください。
- お湯を使用中コイレの水を流すなど大量の水を使用すると、水道の圧力が下がりが熱湯が出る場合がありますので注意してください。
- お湯を止めた後に再使用するとき、お湯の量を急に少なくしたとき、あるいは、万一の機器の故障で一瞬熱いお湯が出ることがあります。やけど防止のために始めのお湯は体につけないでください。また給湯使用時は出湯管（蛇口）が熱くなりますのでやけどに注意してください。



手で温度を確かめる



子供に対する注意

- 浴槽にお湯張りしているときに子供を浴室で遊ばせないようにしてください。浴槽に落ちますと思わぬ事故につながる場合があります。



必ずお守りください

警告

異常時の処置

- ①点火しない場合または、使用中に異常な燃焼、臭気、異常音、異常な温度を感じた場合、使用中で消火する場合は、ただちに使用を中止しガス栓を閉めてください。
- ②故障異常の見分け方と処置方法（→P. 17～P. 19）に従い処置をしてください。
- ③上記の処置をしても直らない場合は使用を中止し、お買い上げの販売店に連絡してください。

地震、火災など緊急の場合

- 迅速に使用を中止し、ガス栓またはメーターガス栓を閉めてください。



給湯栓・ガス栓を閉める



注意

用途について

- 台所・シャワー・洗面・浴槽へのお湯張りなど給湯以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる場合があります。
- 車両・船舶への搭載はしない。振動により機器が破損し、火災や機器故障の原因になります。

本体周辺の防火措置

- 機器周辺は整然としてください。

市販の補助用具の使用禁止

- 事故防止のため、この機器専用の付属品、別売部品以外は使用しないでください。



分解しない

- お客様ご自身では絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。異常作動してけがの原因となります。

排気ファン停止中は使用しない

- 排気ダクトの排気ファンが停止しているときには使用しないでください。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。

ソーラーシステムと接続する場合

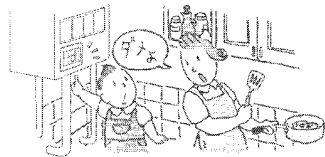
- ソーラーシステムと接続する場合は、出湯温度が設定温度より高くなる場合がありますので、必ずサーモスタット付混合水栓を使用する。

機器本体に無理な力を加えない

- 機器本体やガスの接続部などに乗らないでください。けがや機器の変形による故障のおそれがあります。

本体操作部やリモコンの扱いについて

- 本体操作部、サブリモコンには水をかけないでください。防湿型サブリモコンは防水タイプですが故意に水をかけないでください。
- 本体操作部やリモコンはお子様かいたずらしないようご注意ください。



お願い

電気事故防止

- ①コードの破損・加工禁止/コードへの無理な力や物寄せ禁止、使用禁止
電源コードを加工したり無理な力を加えないでください。感電、ショートや発火による火災のおそれがあります。
- ②プラグの不完全接続禁止（差込みを確実に）/傷んだプラグ、コードの使用禁止
傷んだプラグ・コードは使わないでください。差込みがゆるいと感電や火災の原因になります。
- ③電源プラグごほりをふき取ってください。発火の原因になります。
- ④濡れた手で手の抜き差しをしない
濡れた手で電源プラグを触らないでください。感電のおそれがあります。



禁止

- ⑤交流100V（AC）専用、定格通りの電源電圧の使用
- ⑥コードを持って引き抜かない
電源コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。コードを引っ張ると断線して発熱や発火の原因になります。
- ⑦アース必要
この機器はアースが必要なのでアースされていることを確認する。



アースを接続せよ

電源プラグを抜かない

- お手入れの際、長期間使用しない場合、および凍結防止のため水抜きを行うとき以外は電源プラグを抜かないでください。

停電時または電源プラグを抜いたとき

- この機器は、停電時や電源プラグを抜いたときは使用できません。停電時は給湯栓を閉じてください。
- 再通電したときは、リモコンの再設定（給湯温度・現在時刻など）を行い、表示を確認したあとご使用ください。



給湯栓を閉める

飲用や調理にお使いのときは

- 機器や配管内に長時間たまった水は飲用や調理には用いないでください。朝一番などのように長時間使わなかった後、お使い始めのまだぬるいお湯（洗面器一杯程度）は念のため雑用水としてお使いいただき、その後飲用水としてお使いください。



特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが張られていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



点火・消火の確認

- 使用時の点火、使用後の消火を確認してください。

雷時の注意

- 雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、この取扱説明書のP. 20「冬期の凍結予防をするには」に従って処置してください。おこたると機器内の水が凍って機器が破損することがあります。

凍結したとき

- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結がとけたあと再使用するときは、すべての給湯栓から水が出ることを確認し、機器および配管から水漏れがないことを確認後、P. 22「再使用する時」の項以下の操作を行ってください。
- 機器や配管が損傷した場合、高額の修理費がかかります（有料）。
- 凍結予防のために電気を使用していますので緊急のとき以外は電源プラグを抜かないでください。

必ずお守りください

お願い

長期間使用しないときは

- この取扱説明書 P.21の「機器の水を抜く方法」に従って、水抜きを行ってください。水が長いあいだ流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



スプレー使用注意

- お湯を使用中に機器近くでシリコン系スプレーを使わないでください。故障の原因になります。

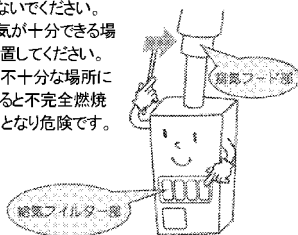
断水するとき

- 断水るときは、給湯栓を閉じ、リモコンの運転スイッチを切ってください。

お願い 設置する場所や状況について

給気について

- 給気フィルター部や排気フード部給気口は、物などでふさがないようにしてください。また給気が十分できる場所に設置してください。給気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となり危険です。



機器の設置の確認

- この機器は高効率型給湯器のため、燃焼中に強酸性のドレン水が発生します。ドレン水は機器内の中和器で中和され、ドレン排水口より排水されます。ドレン排水口から排水配管がされているか確認してください。

日常の点検・お手入れ

- 日常の点検、お手入れをしてください(→P.23参照)。
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときご家庭で修理せず、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 浴槽や洗面台が、水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯アカ)により青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等で拭き取ってください。
- この機器は高効率のため、燃焼中にドレン水が出ます。排水口からスムーズに排水されているか点検してください。ゴミ等によって閉塞されている場合は、掃除を行ってください。

塩ビ管の使用について

- 給水・給湯配管に塩ビ管を使わないでください。機器の使用直後に熱交換器の後沸きにより塩ビ管が破裂し、熱湯がふき出したり、多量の水漏れの原因になります。

井戸水、地下水、温泉水使用時の注意

- 水質によっては本体内の配管内部に異物が付着することがあります。その場合、保証期間内でも修理は有料となります。

油煙・ほこり

- 油煙、ペットの毛など、ほこりのたちやすい場所に設置した場合は、油煙、ほこりなどが給気口をふさいだり、機器燃焼用のファンの性能を低下させ、不完全燃焼の原因となりますので、給気フィルターのお手入れはこまめに行ってください。

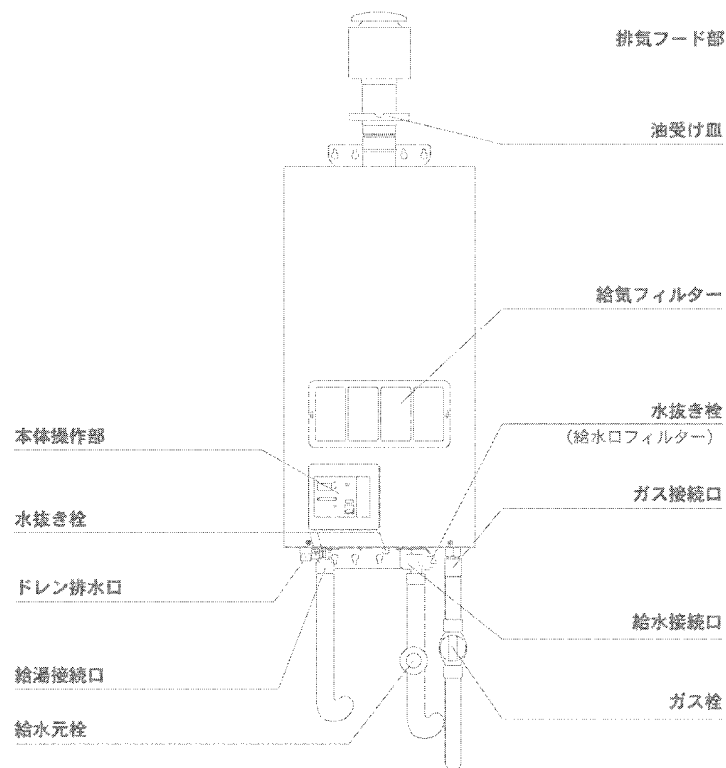
日本国内向けです

- 海外での設置、および使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。この場合、当社では責任を負いかねます。

各部の名称とみくらき

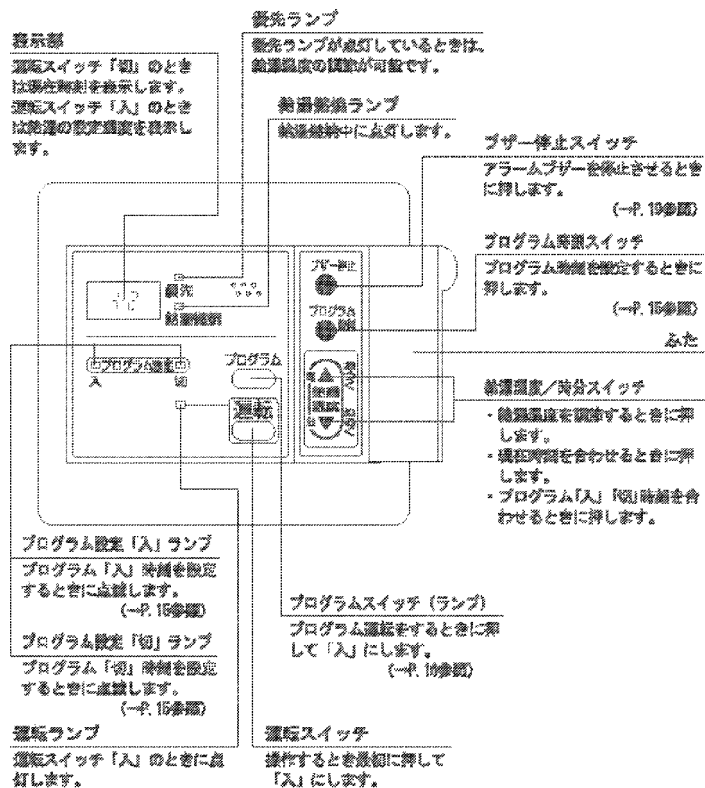
この機器の各部の名称とみくらきをこて紹介しす。

■機器本体

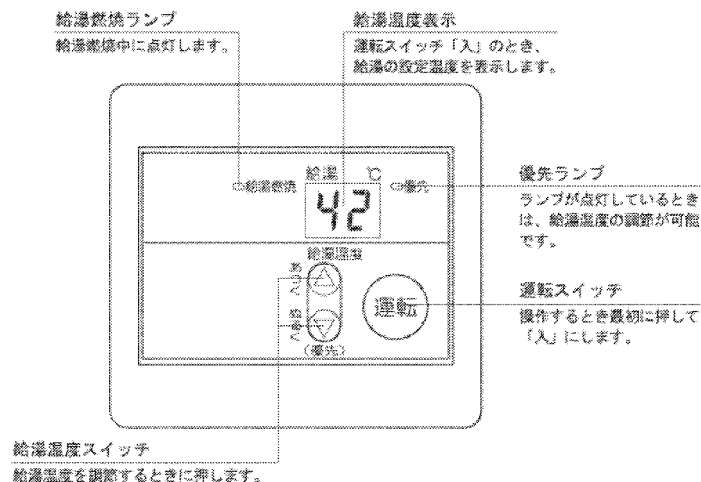


各部の名称とはたらき

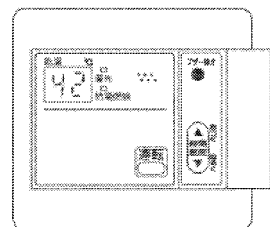
■本体操作部 [38-207型]



■防湿型サブリモコン [38-209型] (別売品)



■サブリモコン [38-208型] (別売品)



本体操作部、防湿型サブリモコンの付いている所以外から運転スイッチの「入」/「切」や給湯温度の調節、ブザー停止ができます。各部のはたらき、使用方法は、本体操作部と同じですが、プログラム運転設定及び時計表示はできません。

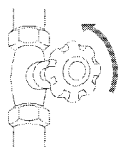
ご利用前の準備

はじめてお使いになるときは、まず屋内にある機器の準備をします。

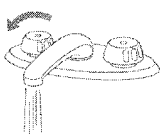
■機器の準備

1 この取扱説明書のP. 23の内容に従って、機器や機器周辺の点検を行います。

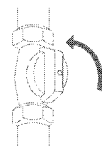
2 給水元栓を全開にします。
機器の下にあります。



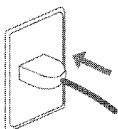
3 給湯栓を開け、水が出ることを確認したら閉じます。



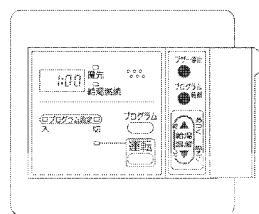
4 ガス栓を全開にします。
機器の下部にあります。



5 電源プラグをコンセントに差し込みます。
コンセントは機器周辺にあります。



本体操作部の現在時刻の合わせかた



設定した現在時刻は運転スイッチを「切」にしても記憶されています。ただし、電源プラグを約50分以上抜いたままにしたとき、また約50分以上停電したときは1:00に切り替わります。再度設定してください。

①時/分スイッチを同時に押す。



時刻表示が点滅します。

②時スイッチを押して時の位を合わせる。



時間の表示は24時間表示です。
(0:00~23:59)
(例) 10:10に設定

●スイッチを押し続けると連続的に数字が変わります。

③分スイッチを押して分の位を合わせる。



時刻合わせ後約10秒で時刻表示が点滅から点灯にかわり、設定終了となります。

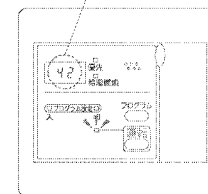
本体操作部でお湯を使う

■操作の基本 本体操作部の運転スイッチを「入」にして、給湯栓を開けるだけの簡単操作でお湯が使えます。

1 本体操作部に運転ランプと給湯温度が表示されているか確認します。

表示されていないときは、運転スイッチを押す。

給湯温度を確認

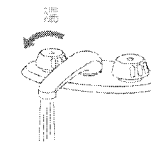


【本体操作部】

2 給湯栓を開けます。
しばらくしてお湯が出ます。
給湯燃焼ランプが点灯します。

はじめてお使いになるときの給湯温度は42°Cに設定されています。

給湯燃焼ランプが点灯



止める
お湯を

給湯栓を閉じ、お湯を止めます。

お湯が止まると、給湯燃焼ランプが消灯します。
(ただし、他の給湯栓が使用中のときは消えません。)



⚠警告 ●給湯、シャワー等を使うときは給湯温度を確認し、手で温度を確かめてから使う。やけどのおそれがあります。

●排気ダクトの排気ファンが運転(回転)していることを確認し、排気ファンが停止しているときは使用しないでください。排気が室内に逆流し、一酸化炭素中毒の原因になります。

📌ご注意ください

●給湯栓を閉じても機器の燃焼用ファンモーターがしばらく回転しますが、故障ではありません。
●従来の給湯器に比べて熱効率が高いため、排気口から白煙が出やすくなっています。これは水蒸気であり、機器の故障ではありません。

🔧

●使いはじめは給湯配管の水が流れ出るまでしばらくお湯が出ません(配管の長さによりお湯が出るまでの時間が異なります。)

●給湯栓をしぼり過ぎると、熱いお湯が出たり、水になることがあります。
●水温が30°C近くになる夏季では、低温にセットしても給湯栓の湯量が少なく給湯温度が高くなります。この場合は給湯栓をさらに開けて湯量を多くするか、水と混合してお使いください。

本体操作部でお湯を使う

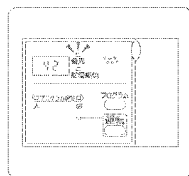
■給湯温度の調節

1

本体操作部の優先ランプが点灯しているか確かめます。

優先ランプが点灯していないときには、給湯温度を変更することができません。14ページの“本体操作部と防湿型サブリモコンセットで使う場合”をご覧ください。

優先ランプが点灯



【本体操作部】

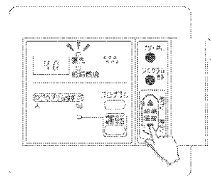
2

給湯温度スイッチで給湯温度を調節します。

- ▲ スイッチを押すと温度が高くなります。
 - ▼ スイッチを押すと温度が低くなります。
- 以下の16段階で設定できます。

標準	⇒	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	50	55	60	70	75		
高温対応	⇒	37	38	39	40	41	42	43	44	45			50	55	60	65	70	75	80
		釜洗いなど				シャワー・給湯など								混合水栓で使うときやお風呂へのあつたし湯など					

※上記のどちらかに設定できます。(目安の温度)
※給湯温度の高温対応の設定は、設置工事時に行います。設定は施工業者に確認してください。



【本体操作部】

お願い

- 55°C以下の温度でシャワーや給湯を使っているときは、やけど防止のため60°C以上には設定できません。60°C以上に設定しようとすると“ビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。
- 上記で60°C以上に設定したいときは、いったん出湯を止めてから行ってください。また、設定するときは他の場所で給湯が使われていないか、よくご確認ください。
- はじめてお使いのときや、停電時、電源プラグを抜いた場合などで、一度通電が止まったあと約50分以上経過してから再通電したときは、給湯温度表示が42°Cになります。再度セットし直してください。
- 通常、給湯温度は運転スイッチを「切」にしても記憶されていますが、給湯温度を60°C以上に設定したときはやけど等の危険防止のため、再度運転スイッチを入れたとき自動的に55°Cにセットされます。
- 表示している温度と給湯栓から出る湯温は、配管の長さや外気温等により必ずしも一致しません。表示温度は目安としてお考えください。

13

本体操作部と防湿型サブリモコンセットで使う

■優先の切替えについて

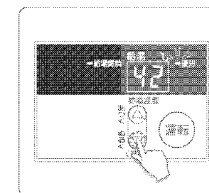
本体操作部の給湯温度で浴室のシャワーを使うと熱い場合があります。給湯温度が調節できるリモコンを「優先」と呼び、リモコンのどちらか一方を優先にできます。シャワーを使うときは、浴室の防湿型サブリモコンを優先にし、防湿型サブリモコンで設定した湯温でシャワーを使えます。また、優先を切替えることを「優先切替」といいます。

■優先を切替える

1

本体操作部が優先のときに防湿型サブリモコンを優先にするには防湿型サブリモコンのスイッチを押します。

防湿型サブリモコンに優先ランプが点灯します。防湿型サブリモコンが優先となり、防湿型サブリモコンからお湯の温度調節ができます。



【防湿型サブリモコン】

2

防湿型サブリモコンが優先のときに本体操作部を優先にするには本体操作部の運転スイッチを「切」にして再度「入」にします。

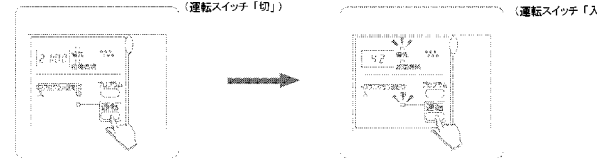
本体操作部に優先ランプが点灯します。本体操作部が優先となり、本体操作部からお湯の温度調節ができます。

運転ランプが消える

(運転スイッチ「切」)

運転ランプと優先ランプが点灯

(運転スイッチ「入」)



警告 ●シャワー・給湯の使用中に優先を切替えない。お湯の温度が急変してやけどをするおそれがあります。

ご注意ください

- 本体操作部では優先ランプが点灯していないときに給湯温度を設定しようとすると、“ビビビビ”と警告音が鳴って受け付けません。優先を切替えてから給湯温度を設定してください。
- 優先を切替えるときには他の場所で使われていないことを確認してから切替えてください。

XE

- 優先を切替えたとき、切替え前の給湯温度が60°C以上だった場合には、自動的に55°Cにセットし直されます。
- やけどを防ぐため、サーモスタート付混合水栓の使用をお勧めします。
- 別売のサブリモコン(38-208型)を設置している場合。
 - ・本体操作部が優先のときは、サブリモコンにも優先があります。
 - ・サブリモコンと本体操作部は連動しています。サブリモコンのスイッチを「入」にすると、本体操作部とサブリモコンの両方に優先ランプが点灯し、本体操作部でも給湯温度を調節できます。

14

プログラム運転を使う

- プログラム運転について プログラム運転は、毎日決まった時刻に自動で運転の「入」/「切」ができます。
- プログラム時刻の合わせかた まず、本体操作部の現在時刻が合っているかを確認します。合っていない場合は合わせてください。(→P. 11 参照) そのあとプログラム時刻を合わせます。

1 プログラム時刻スイッチを押します。

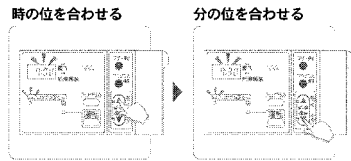
「入」の時刻が点滅し、プログラム入ランプが点滅します。

「入」時刻表示とプログラム入ランプが点滅



2 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。

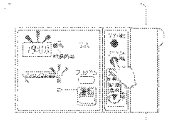


(例) 7:30に設定

3 プログラム時刻スイッチを押します。

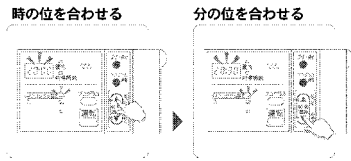
「切」の時刻が点滅します。プログラム入ランプが消灯し、プログラム切ランプが点滅します。

「切」時刻表示とプログラム切ランプが点滅



4 時スイッチを押して時の位を設定し、分スイッチを押して分の位を設定します。

時スイッチを押すと、時の位が、分スイッチを押すと分の位が変わります。約10秒後、表示部が現在時刻表示、または給湯温度表示に戻り、プログラム切ランプが消灯します。



(例) 20:30に設定



- セットしたプログラム時刻は、記憶されていますので、利用する時刻が決まっているときはプログラム時刻は毎日セットする必要はありません。
- 停電時、電源プラグを抜いた場合などに、一度通電が止まったあと約50分以上経過してから再通電したときは、プログラム時刻が初期設定に戻ります。再度セットしてください。
- ▲▼スイッチは押し続けると連続的に数字が変わります。

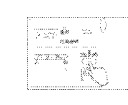
■プログラム運転のしかた

- 本体操作部の現在時刻・プログラム時刻を確認してください。プログラム時刻の確認は、プログラム時刻スイッチのみを押して行ってください。1回押すごとに順次表示します。
- プログラム時刻の変更は“プログラム時刻の合わせかた”(P. 15)を参照してください。

プログラム運転をセットする

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが点灯します。プログラム運転がセットされた状態になります。



(図の時刻表示は現在時刻を表示しています。)

「入」時刻になると

運転が「入」になり、運転ランプが点灯します。表示部が給湯温度表示になります。給湯栓を開ければお湯が出ます。

運転ランプが点灯



「切」時刻になると

運転が「切」になり、運転ランプが消灯します。メインリモコンは表示部が現在時刻表示になります。防湿型サブリモコン・サブリモコンは給湯温度表示が消えます。

運転ランプが消灯



プログラム運転を解除する

運転停止中に解除したい場合

プログラムスイッチを押します。

プログラムスイッチが消灯し、プログラム運転が解除された状態になります。

プログラムスイッチが消灯



運転中に解除したい場合

プログラムスイッチを押します。

プログラム運転は解除されますが、通常運転になります。プログラムスイッチは消灯し、運転ランプは点灯したままです。

プログラムスイッチは消灯、運転ランプは点灯したまま



プログラム運転中に運転を停止するには

運転スイッチを押します。

運転動作が変わり(運転→停止、停止→運転)もう1度押すともとに戻ります。運転中は運転ランプが点灯し、停止中は消灯します。プログラム運転の設定は解除されません。(プログラムスイッチは点灯したままです。)

プログラム運転中(プログラムスイッチ点灯中)に運転を停止するときは、



- プログラム運転中(プログラムスイッチ点灯中)でも、運転ランプが消灯しているときは給湯栓を開けてもお湯は出ません。給湯を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてから使用してください。
- プログラム運転をセットした後、停電や電源プラグを抜いたときは、セットが解除されます。電源復帰後、プログラムスイッチを押してセットしてください。

故障かな?と思ったら

■機器本体

こんなとき	故障ではありません
<p>出湯停止後もファンの回転音がする</p> <p>給湯栓を閉じると、給水側の水抜き栓から一瞬水が漏れる</p>	<p>再使用時の点火をより早くするためしばらくは回転しています。</p> <p>給水側の水抜き栓は過圧防止安全装置をかかえています。水の圧力を逃がすために水が出る場合があります。</p>
こんなとき	ここを調べてください
<p>燃焼ランプが点灯しない (運転しない)</p>	<p>①電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)</p> <p>②停電していませんか? (P. 6)</p> <p>③ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>④給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>⑤給水ロフィルターが詰まっていますか? (P. 24)</p> <p>⑥給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)</p> <p>⑦断水していませんか? (P. 20)</p> <p>⑧凍結していませんか? (P. 20)</p> <p>上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。</p>
<p>燃焼ランプが点滅した</p>	<p>①ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>②給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>③給水ロフィルターが詰まっていますか? (P. 24)</p> <p>④給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)</p> <p>上の4項目を確認して、*リセット操作をしてください。</p>
<p>使用中に消火した</p>	<p>レンジフードや換気扇が強すぎて給気不足になったリストープなどの長時間使用で不完全燃焼すると自動的に消火します。レンジフードを弱にするか、換気口を開けて換気をしてください。</p>
<p>運転中に機器から異音音が聞こえる</p>	<p>点検依頼してください。</p>

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■本体操作部・防湿型サブリモコン

こんなとき	故障ではありません
<p>現在時刻が合っていない</p>	<p>約50分以上の停電があったときや、約50分以上電源プラグを抜いた後再接続すると時刻が1:00から進み始めます。再度、現在時刻を合わせてください。</p>
こんなとき	ここを調べてください
<p>画面表示しない</p> <p>本体操作部の運転ランプが点灯しない</p>	<p>①電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)</p> <p>②停電していませんか? (P. 6)</p>
<p>給湯燃焼ランプが点灯しない (運転しない)</p>	<p>①電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか? (P. 11)</p> <p>②停電していませんか? (P. 6)</p> <p>③ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>④給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>⑤給水ロフィルターが詰まっていますか? (P. 24)</p> <p>⑥給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)</p> <p>⑦断水していませんか? (P. 20)</p> <p>⑧凍結していませんか? (P. 20)</p> <p>上の8項目を確認して、*リセット操作をしてください。</p>
<p>リモコンのアラーム番号が表示されたとき</p>	<p>リモコンのアラーム番号を確認してください。 (P. 19)</p>

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

■お湯の出かた

こんなとき	故障ではありません
<p>給湯栓を開いてもすぐに お湯が出ない</p>	<p>最初に使うときは、機器から給湯栓までの配管内の水が押し出されるまで少し時間がかかります。</p>
<p>夏などぬるいお湯が出ない</p>	<p>給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。水温が高いとき、ぬるいお湯を少量出そうとするとお湯の温度が高くなる場合があります。</p>
<p>冬などあついお湯が出ない</p>	<p>お湯の量を少なめにしてお使いください。水温が高いときにはお湯を出しすぎるとあついお湯が出ない場合があります。</p>
<p>給湯栓を絞りすぎて水になった</p>	<p>給湯栓を十分開いてお湯の量を多くすれば温度は安定します。機器から出るお湯の量が、1分間に約3.0ℓ以下になると消火するためです。</p>
<p>お湯が白く濁って見える</p>	<p>水の中の空気が分離して気泡となるためです。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違って無害なものです。</p>
こんなとき	ここを調べてください
<p>あついお湯が出ない</p>	<p>①湯温調節は適切ですか? (P. 13)</p> <p>②ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)</p>
<p>ぬるいお湯が出ない</p>	<p>①湯温調節は適切ですか? (P. 13)</p> <p>②給水ロフィルターが詰まっていますか? (P. 24)</p> <p>③給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)</p> <p>④給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)</p>
<p>お湯が出ない (運転しない)</p>	<p>①電源プラグが確実にコンセントに差し込まれていますか? (P. 11)</p> <p>②停電していませんか? (P. 6)</p> <p>③ガス栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>④給水元栓が全開になっていますか? (P. 11)</p> <p>⑤給水ロフィルターが詰まっていますか? (P. 24)</p> <p>⑥給湯栓が十分に開いていますか? (P. 12)</p> <p>⑦断水していませんか? (P. 20)</p> <p>⑧凍結していませんか? (P. 20)</p>

それでもわからないときは
アフターサービスをお申し付けください

*リセット操作
運転スイッチを「切」にし、5秒後「入」にしてお使いください。

■こんな場合には安全装置が働きます。()はアラーム番号

- 寒いとき、機器の電気ヒーターが働き機器内の凍結を予防します。・・・凍結予防装置
- バーナーの炎が消えた場合にガスを止めます。(121)・・・立消え安全装置
- 電気回路に漏電が生じた場合に電気を停止します。・・・漏電安全装置
- 給水されていないのに燃焼している場合にガスを止めます。(721)・・・残火安全装置
- 機器の温度が異常に上昇した場合にガスを止めます。(141)・・・過熱防止装置
- 機器内の水圧が異常に上昇した場合に機器の破損を防止します。・・・過圧防止安全装置
- 給排気や燃焼の異常を検知すると作動します。(051,991)・・・異常燃焼検出装置
- 排気ダクトの排気ファンの異常や停止状態を検知するとガスを止めます。(941,951)・・・排気異常検出装置

故障かな?と思ったら

■ 本体操作部・リモコンのアラーム番号が表示されたとき

- 本体操作部、リモコンにアラーム番号が表示したときは、アラームブザーが鳴ります。本体操作部がサブリモコンのブザー停止スイッチを押して、ブザーを止めてください。
- 不具合が生じたとき、その原因をアラーム番号でお知らせします。原因に応じて表示部にアラーム番号が表示点滅し、自動的に運転を停止します。
- アラーム番号が表示点滅したときはお買い上げの販売店または、最寄りの大阪ガスへご連絡ください。そのときは表示されているアラーム番号もお知らせください。
- 本体操作部はアラーム番号の表示点滅と同時にアラームブザーが鳴ります。アラームブザーの解除は本体操作部またはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。(アラームブザーは解除しますが、アラーム番号の点滅表示は解除されません。)

例：図のようにアラーム番号が点滅してお知らせします。



本体表示	アラーム番号	原因	処置
燃焼ランプ 消灯	031 (03) 141 (14) 711 (71) 741 (74) 751 (75)	制御基板の異常のため	ガス栓が全開であることを確認後、リモコンの運転スイッチを「切」にし、5秒後運転スイッチを「入」にしてお使いください。
燃焼ランプ 消灯	701 (70)	設定温度より高い温度で出燃されたため (90℃以下の設定温度で90℃以上のお湯が出たため)	それでもアラーム番号が出るときは、修置を依頼してください。
	111 (11) 121 (12)	火がつかないときや、使用中に炎が消えてしまったため	
	311 (31) 321 (32) 331 (33) 341 (34) 351 (35)	温度検出器の故障のため	
	611 (61) 721 (72) 381 (38)	燃焼系の故障のため	
	510 (51) 511 (51) 651 (65) 661 (66) 541 (54)	ガス回路の故障のため 水回路の故障のため	
燃焼ランプ 消灯	921 (92) 注1) 参照	中和器の交換寿命または中和器のつまりや異常のため	燃焼ランプが点滅し、異常燃焼検出装置が作動したため
	991 (99)	異常燃焼検出装置が作動したため	
燃焼ランプ 消灯	051 (05)	給気フィルターが詰り、閉塞により給気不足になったため 給気フィルターが正しく装着されていないため	使用できませんが給気フィルターを掃除してください。(→P.27参照) 給気フィルターを正しく装着してお使いください。(→P.27参照)
燃焼ランプ 消灯	381 (38)	異常燃焼検出装置の劣化	異常燃焼検出装置の交換を依頼してください。(10000時間経過後は機器を使用できません。)
	燃焼系の故障以外の場合	9800時間経過 アラーム番号表示 9900時間経過 能力低下 10000時間経過 機能停止	
燃焼ランプ 消灯	941 (94) 951 (95)	排気ダクトの排気ファンの異常や排気ファンの標準により、換気温度の上昇を抑制したため、排気異常検出装置が作動した。	排気ダクトの排気ファンが停止しているときは運転(回転)させてください。運転スイッチを「切」にし、1分ほどしてから再度使用してください。

() 内は防湿型サブリモコン、サブリモコンの表示です。

注1) “921 (92)”は中和器に関するアラームですので“921 (92)”がでたら、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。中和器の交換寿命になるとまず、“921 (92)”のアラーム点滅、およびブザーでお知らせします。しばらくお気づきにならないと、機器は停止して使用できなくなります。中和器の交換寿命になりましたら早い時期に中和器の交換をお願い致します。

冬期の凍結予防をするには

凍結を予防するための操作について説明します。

■ 凍結予防装置について

通常の寒さのとき (気温 - 15℃程度まで)

この機器には、気温が下がってくると自動的に機器内を保温する凍結予防ヒーターがついています。そのため気温 - 15℃程度までは、機器の電源プラグをコンセントに入れた状態にしておけば、機器内の凍結は予防できます。これらの装置は、運転スイッチの「入」/「切」に関係なく作動します。



- お願い!**
- 凍結予防装置は電源プラグを抜くと作動しませんのでご注意ください。
 - 機器内の凍結は予防できますが、配管は凍結することがありますので、配管は必ず保温材で被覆してください。

寒波などで特に寒くなりそうなときは、以下のいずれかの方法で凍結予防をしてください。

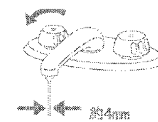
1. 給湯栓を開いて水を流す方法 2. 機器の水を抜く方法

1. 給湯栓を開いて水を流す方法

この方法は機器本体だけでなく、給水・給湯配管やバルブ類および給湯栓の凍結予防に有効です。

- 1 別売のリモコンを取り付けている場合
1 別売の運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
リモコンを取り付けていない場合は電源プラグを抜きます。

- 3 浴室の給湯栓を開け、1分間に400cc (牛乳びん2本ぐらい)の水を流し続けます。
流量が不安定なことがありますので、念のため30分ぐらい後にもう一度流量を確認してください。



- 2 ガス栓を閉じます。

- お願い!**
- 次の朝、お使いになるときは、給湯栓を開けて水が出ることを確認してから、運転スイッチを「入」にしてください。

- 注意!**
- 1. 給湯栓を開いて水を流す方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防のために水を流していることをお知らせください。水を止めると凍結します。

冬期の凍結予防をするには

2. 機器の水を抜く方法

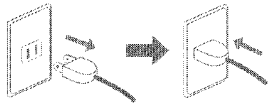
入居前や長期不在で家の電気ブレーカーを「切」にする場合や、電源プラグを抜く必要がある場合には、この方法で機器内の水を排水し凍結予防をします。

注意 ●使用後すぐに水抜きをしない。やけどのおそれがあります。
機器やお湯が高温になっていますので冷えてから行ってください。

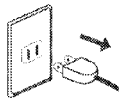
1 ガス栓を閉じます。



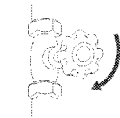
2 電源プラグを抜き、再度コンセントに差し込みます。



3 15秒ほど待ち、再び電源プラグを抜きます。



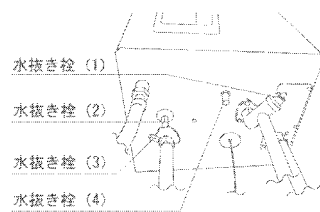
4 給水元栓を閉じます。



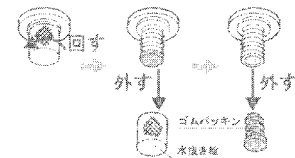
5 すべての給湯栓を全開にします。



6 水抜き栓 (1) (2) (3) (4) を外して水が出ることを確認します。



水抜き栓 (4) の外しかた



外したゴムパッキンは、水抜き栓にはめ込んでください。

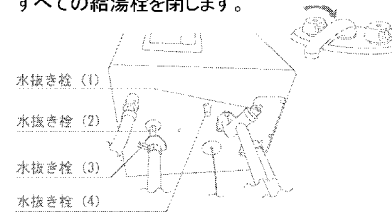
7 水抜き終了後、水抜き栓を元の所に取付けます。
・以上の操作で機器内の水は排水されます。次にお使いになるまでそのままにしておいてください。

お願い ●水抜きをするとき床などに水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水を受けてください。

■再使用するとき

機器内の水を排水したあと、しばらくして再度使用するときは次の操作をしてください。

1 水抜き栓 (1) (2) (3) (4) およびすべての給湯栓を閉じます。



2 給水元栓を開けて、すべての給湯栓から水が出ることを確認します (機器や配管より水漏れがないか確認してください)。



3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



4 ガス栓を開けます。



■凍結してしまったとき

凍結したときは給湯栓を開けても水は出てきません。解凍するまで待って、次の操作により水が出ることを確認してから運転してください。

1 ガス栓を閉じます。



2 給水元栓を閉じます。(配管が破損していると、解凍したときの水漏れの原因になります。)

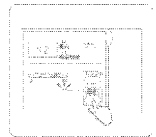


3 本体操作部または、別売のリモコンの運転スイッチを「切」にします。



4 ときどき給水元栓と給湯栓を開けて、給湯栓から水が出ることを確認します。水が出てくれば使用できます。通水したら機器および配管より水漏れがないことを確認してください。ガス栓を開けます。

5 本体操作部または、別売のリモコンの運転スイッチを「入」にします。



お願い ●再使用するときは、水抜き栓を元通りに確実に閉じてください。閉じかたが不十分だったり閉じ忘れたりすると、そこから水漏れします。
●取扱説明書に従った凍結予防の処置をせずに機器や配管が破損すると、高額な修理費用 (有料) がかかる場合があります。
●給水・給湯配管が凍結すると配管や給湯栓が破損することがあります。解凍後は、水道メーターを見るなど水漏れしていないことを確認してください。
●機器や配管が破損し、床や壁などを濡らして生じる損害はお客様の責任となります。

点検のポイント・お手入れのしかた

■点検のポイント 安全に長くお使いいただくために、点検とお手入れは定期的に行いましょう。

次の12のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をけます。
- 2 機器および配管からガスの臭気はしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音がしませんか？
- 4 機器の外観に異常は見られませんか？
- 5 機器のまわり、ダクトとの接続部のそばに燃えやすいものはありませんか？（→P. 4 参照）
- 6 ダクトとの接続部が外れていませんか？（→P. 3 参照）
- 7 部屋の窓（給気口、排気口、小窓など）が物などでふさがっていませんか？（→P. 3 参照）
- 8 排気フード部および排気筒の破損、外れ、詰まりはありませんか？（→P. 3 参照）
- 9 給気フィルターにゴミ、ほこりが詰まっていますか？
- 10 給気フィルターの変形、破損はありませんか？
- 11 給気フィルターが機器に確実に装着されていますか？
- 12 給気フィルターが物などでふさがれていますか？
- 13 燃焼中、ドレン水がドレン排水口からスムーズに排水していますか？



■お手入れのしかた

機器本体およびリモコンのお手入れ

- 汚れた、水にぬらしたやわらかい布をかく絞って、軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変形する場合があります。



■定期点検のおすすめ(有料)

- ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年一回程度の定期点検をおすすめします。お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご相談ください。

警告 ●フロントカバーを外したり、本体操作部やリモコンを分解したりしない。

●ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、電源プラグを抜き、機器が冷えてから行ってください。また、怪我などしないよう、指先には十分注意してください。
- 給湯栓の先端に泡沫器が内蔵されているものについては、ときどき内部のフィルターを掃除してください。
- 本体操作部、サブリモコンには水をかけないようにしてください。リモコンの内部には電気部品が入っていますので故障の原因となります。また、防湿型サブリモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。

- お願い**
- 洗剤およびシンナー、ベンジンなどでは拭かないでください。
 - 水圧の低い地域では泡沫器は使用しないでください。

■給水口フィルターの掃除

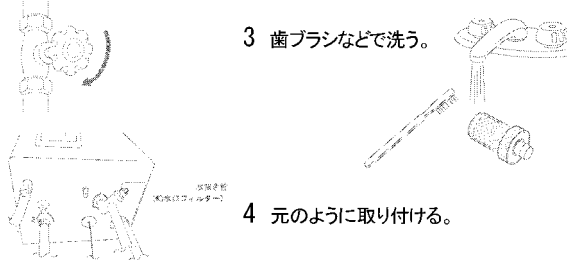
給水口フィルターが詰まるとお湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合があります。そのときは、次の要領で給水口フィルターを掃除してください。（特に新築などの場合）

1 給水元栓を閉じる。

3 歯ブラシなどで洗う。

2 給水接続口にある水抜き栓を外す。

4 元のように取り付ける。



お願い ●給水口フィルターを外すと水が出ます。水が流れては不都合な場所では、あらかじめ容器を用意して水をうけてください。

■給気フィルターの掃除

給気フィルターは定期的（月1回程度）に掃除してください。給気フィルターにほこりやゴミが詰まると、本体操作部および別売のサブリモコンの表示部にアラーム番号（本体操作部：051、サブリモコン：05）が表示点滅し、「ビッピビッピ・・・」と鳴ります。給気フィルターはときどき掃除してください。アラームブザーの停止は、本体操作部またはサブリモコンのブザー停止スイッチを押して行ってください。

給気フィルターの外し方

- 運転スイッチを押してリモコンを「切」にします。
- 上にずらして手前に引くとフィルターが外れます。

給気フィルターを掃除する

- ほこりやゴミを掃除機で吸い取るか、水洗いします。油污れのひどいときは、台所用中性洗剤で洗ってください。
- 元のように取り付けます。濡れている場合はよく乾かしてから取り付けてください。
- 給気フィルターがきちんと装着されていないときは機器が使用できません。（本体操作部にアラーム番号051が表示）

お願い ●ベンジン・シンナー・みがき粉などで拭いたり、液状殺虫剤や熱湯などをかけないでください。●給気フィルターを外したまま使用したり、ぬれたまま取り付けて使用しないでください。故障の原因となります。●給気フィルターの掃除回数は使用場所により異なります。汚れてきたら掃除してください。●給気フィルターが変形・破損したときには、お買い上げの販売店でお求めください。

■油受け皿の掃除

油受け皿は定期的（月1回程度）を目安としますが、頻度は設置状況により異なります。

- 運転スイッチを「切」にします。
- 油受け皿を掃除します。油がたまっているときは布などで拭き取ってください。

お願い ●排気フード本体の底板を外したり、フード内部のセンサーは外さないでください。外したりすると、排気が室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となります。

仕様

〔仕様表〕

項目	目次	内容
品名		633-1001型
型式		GS-160GE-1
外形寸法(mm)/質量(kg)		幅350×奥行300×高さ700/29
種類	給湯方式	先止め式
設置	方式	屋内設置壁掛形
点火方式		AC100V連続放電式(ダイレクト着火)
使用水圧		100~800kPa(1.0~8.0kgf/cm ²)
最低作動水圧		10kPa(0.1kgf/cm ²)
接続給湯	水道	15A(R1/2)オネジ
給湯	水湯	15A(R1/2)オネジ
電圧	電源	AC100V(50/60Hz)
消費電力	定格	54W
電圧関係	凍結予防	143W
	電源コード	VCT(2心)總外長2.0m
安全装置		送風検知装置(回転数検知方式) 過圧防止安全装置(スプリング式) 漏電安全装置(漏電リレー) 防凍保護装置(サージアブソーバー) 凍結予防装置(電気ヒーター) 空だき防止装置(水量センサー) 排気温度異常検出装置(サーミスタ) 空だき安全装置(バイメタル式) 排気あふれ検出装置(サーミスタ) 異常燃焼検出装置(COセンサー) 立消え安全装置(フレムロッド方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ)
付属品		排気フード部・アース線・壁固定金具一式・水抜きホース 防湿型サブリモコン・サブリモコン・リモコンコード

〔能力表〕

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	出湯能力(最大時)(ℓ/min)		ガス接続
使用ガスグループ		水温+25℃上昇	水温+40℃上昇	
都市ガス 13A	30.2kW[26,000kcal/h]	16.0	10.0	15A(R1/2)

◎ガス：JISに規定する標準ガス・標準圧力のとき。

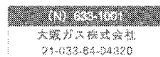
◎出湯能力は、水圧200kPa[2.0kgf/cm²]のときで、温度を高めめに設定し、水と混合させることにより可能となる最大流量の計算値をいいます。

◎本仕様は改良のため、お知らせせずに変更することがあります。

アフターサービスについて

サービスを依頼されるときは

- P.17～P.19の「故障かな?と思ったら」の項を確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、ご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名:633-1001
(右のようなラベルを機器前面に貼付してあります)
 - (3) 現象(故障または異常内容、アラーム番号などできるだけ詳しく)
 - (4) 訪問ご希望日



転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が、異なる地域へ転居される場合は、調整改造の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

保証について

- このガス給湯器には保証書がついています。
- 必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

補修用性能部品の最低保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後7年です。ただし、最低保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は有料で修理いたします。

アフターサービス等についてわからないとき

- お買い上げの販売店、または最寄りの大阪ガスへお問い合わせください。

長期間使用しない場合

- 長期間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(水抜き方法は、P.21を参照してください)
 - (4) 電源プラグを抜きます。